

ヨシナカ新聞

7月号
発行所
株式会社ヨシナカ
東京営業所
TEL:03-3555-0796

完熟バナナの免疫効果

完熟バナナの免疫増強効果が、未熟バナナより8倍もあるという研究結果が帝京大学から発表されているそうです。

バナナにはてんぷんを分解する酵素が含まれていて、熟していくにつれて、でんぷん質を糖質へと変えていく性質がある

為、完熟して茶色くなったバナナはどんどん甘くなり、消化吸収もしやすい状態に変化していくそうです。

この熟していく過程で抗酸化物質もどんどん増えていき、さらにはTNF (Tumor Necrosis Factor) と呼ばれる【腫瘍壊死因子】がつくられて

いきます。この【腫瘍壊死因子】が字の如く、がん細胞や異常な細胞を壊してくれるので、バナナは熟していくほど体にいい食べ物になっていくというわけですね。



さらに、バナナを食べると白血球の数が増え、TNFが増えることによつて、がん細胞などへの攻撃力も高まり、それが結果的に免疫能力を高めます。その効果は熟していない状態と比較すると8倍ほど違ってくるそうです。

しかし、バナナの甘みを感じる糖分が気になります。血糖値を下げる効果があるので、2型糖尿病の予防も期待出来る食品としてバナナは知られているそうです。

足鍵盤を踏み続けていると鳴り続けるティンパニーのロール音。それだけで興奮している私に、先生は苦笑しながら、上の鍵盤でイントロを弾きましようとして優しく仰います。

K社員のエレクトーン奮闘記

そう、ティンパニーだけではイントロではない。耳コピした音階を一つづつ楽譜に記してから、上の鍵盤をホルンの音に設定します。そして、右手でゆっくりと演奏します。先生の指示で何度か弾いているうちに滑らかに弾けるようになります。

そして、足鍵盤でティンパニーをロールさせながらホルンの音階を右手で弾くと、祖母と一緒に観ていた『新日本紀行』のオーブニングの最初の旋律です。またまたその時の光景が蘇ります。まだイントロだけなのに、興奮冷めやらぬ私でした。

電流を流すには、反応してイオンとすることが必要です。

ここで食塩水に溶けている酸素の出番です。酸素は電子と反応して消費し、水酸化物イオンになります。プラス極では亜鉛のイオンが、マイナス極では水酸化イオンができることが、食塩水中を電流が流れる原因です。

こうして、電池の作用で腐食が起こります。腐食は直流の電流が金属から環境へ流れ出るのに伴って起こります。このような反応は食塩水でなく、淡水、海水、土などでも同じです。(日刊工業新聞社発行『トコトンやさしい錆の本』より)

ステンレス豆知識

『乾電池』から学ぶ腐食の進行メカニズム

腐蝕の進行メカニズムは、乾電池で起こる反応に似ています。乾電池はマイナス電極となる亜鉛の筒の中心にプラス電極となる炭素の棒を置き、これらに黒い薬品を詰めたものです。電球をつなぐと直流の電流が流れて電球が点灯します。

電流は、炭素棒(+極)→電球→亜鉛の筒(-極)→黒い薬品→炭素棒と流れます。炭素棒から亜鉛の筒までの電流の流れは、電子が電流と反対の方向、つまり亜鉛の筒→電球→炭素棒と流れます。亜鉛の筒では亜鉛が

亜鉛のイオンと電子になって電子を製造します。金属がそのイオンに変化して失われるのが腐食です。乾電池では電流が流れるにつれて、亜鉛の筒が腐食するわけです。

次に、食塩水の中で鉄とステンレスを直接に繋いだ場合を考えます。ステンレスをプラスの電極、鉄をマイナスの電極とした電池ができます。電流はステンレス→鉄→食塩水→ステンレスと流れます。また、電子が鉄→ステンレスと流れます。

プラス電極のステンレスでは何が起こるのでしょうか。鉄からステンレスにやってきた電子は、そのままでは食塩水に入れません。食塩水に

金属加工技術展

先月11日(木)に大阪産業創造館(大阪市中央区)で金属加工技術展が開催されました。ものづくりの基盤を支える金属加工技術を披露すべく、約50社が参加し、弊社も出展させて頂きました。写真は弊社ブースの様子です。お忙しい中、弊社ブースまで足をお運び頂きました皆様にご心より御礼申し上げます。

